



# 第二中だより

No. 581

開校 55 周年

生徒数 489 名

令和 3 年 7 月 1 日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢 1 番 4 号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



「環境は、人をつくる、その環境は人がつくる」

校長 橋本 真

7月は、1年の折り返し点であり、「1年の峠」でもあります。「峠」という漢字は、一説によると日本で考えられたそうです。この1年の峠で、今一度初心に戻り、この夏を乗り切りたいものです。

7月は「準備」の月です。

「準備」は、振り返りから始まります。

「準備」とは、計画を立てることです。何をするのかを明確にさせる事です。

「準備」とは、その計画を実行することです。

終業式は7月20日ですが、

夏休みと二学期に備える月です。

## 「無言清掃」に思うこと

かつて、令和元年度の入学式の式辞に「美しく」の校訓を引用しました。「行き届いた清掃工夫された掲示物季節の花が



香る、ここ和光市立第二中学校は、清潔で美しい学校です。」とその美しさを称えました。さらに、

「これまでの、先輩たちの努力の成果を皆さんに引き継いでいってほしいと思います。また、美しさには、目に見えない心の部分にもあります。どうか皆さんの想像力を働かせて、思いやりや感謝の気持ちを持つ、美しい人になってください。」と綴りました。この二中は、これまでに私が赴任した学校の中でも特に美しい学校です。校門をくぐり、すれちがう生徒が「おはようございます」と明るい声で挨拶をしてくれます。玄関に入ると古い下駄箱も清



掃が行き届き、教室のロッカーやカバンもきちんと整理整頓されています。もちろん、教室や廊下にはゴミひとつ落ちていませんでした。ゴミが

落ちていたり、掲示物が剥がれていたら、気がついた人が拾ったり直したりするという暗黙のルールがあるんだと思います。だからいつもきれいな環境の中で勉強ができるんだなと思いました。廊下や教室の壁面には様々な学習に関する掲示物が整然と貼られ、生徒全員が真剣に授業に参加しています。今は、無言清掃、生徒と先生が一緒になって取り組んでいます。生徒や教職員全員が意識して「自分の学校を大切にしたい環境作りに取り組んでいるんだ」ということを実感させられます。まさしく、「環境は人をつくる。その環境は人がつくる」そのものです。和光市立第二中学校は、55年という長い歴史と伝統がありますが、校舎は古くとも、教室や廊下がきちんと整理整頓され、日頃から気持ちの良いきれいな環境が維持できるように全校生徒と教職員みんなで心がけていきたいと思っています。



## 学校総合体育大会

6月20日から新型コロナウイルス感染予防対策を行い、学校総合体育大会が始まりました。本校も多くの部活動が参加し、結果は、どの部活も大検討、実力を発揮しました。何よりも、今まで一緒にプレーしてくれた多くの人達との思い出は、3年生にとって一生の宝物です。部活動で得たことをこれからの人生に活かしていきましょう。その中でも団体・個人の県大会出場は、女子ソフトテニス部、女子卓球部、剣道部男子でした。上位大会での熱闘を期待しています。

